



年間献血者数が2006年に初めて500万人を割り、献血協力者は国民の4%弱と限られた現状のなか、特に若者の献血離れが進む。日本赤十字社は若い世代へのPRに力を入れるほか、夏期休暇などで献血者数が落ち込みがちな7月を「愛の血液助け合い運動」月間として協力を求めている。(野村由美子)

「親類が血液の病気で世話になったから、お返しに」。愛知県の県血液センターで献血を終えた女性(名は献血に来た理由をそつ話す。回数はい百回を超える。「健康だからこそ続けられるし、すぐにできるボランティアだから」)

実は全人口に対する献血者は二〇〇六年度で3.9%しかない。「協力してくれるのが同じ方ばかりなのが現状」と日本赤十字社の大田貴広さん。若者の献血関心度調査(厚生労働省)

若者の献血呼び戻せ

日本赤十字社 PR活動に力

	成分献血		全血献血	
	血漿成分献血	血小板成分献血	200ミリℓ献血	400ミリℓ献血
1回献血量	300ミリℓ-600ミリℓ(体重別)	400ミリℓ以下	200ミリℓ	400ミリℓ
年齢	18-69歳※	18-54歳	16-69歳※	18-69歳※
体重	男性45kg以上・女性40kg以上			50kg以上
最高血圧	90以上			

(ほかに血液比重、年間献血回数などの基準がある)
※65歳以上は60-64歳の間に献血経験がある人に限る

■献血方法別の主な採血基準

は、四人に一人が一献血に
ついて知らない一だつた。
輸血用血液製剤には有効
期限が短いものもあり、過
不足なく継続的な献血者数

の確保は不可欠。しかし
春、夏、年末年始と学校や
企業の休暇に合わせ、献血
者数は落ち込む傾向があ
る。少子高齢化や、海外渡
航歴による献血制限の対象
者の増加も、献血者を減ら
す要因になっている。



大学生が「連盟」自ら啓発

の献血者を全体の33%から
40%へ上げる目標を立て
た。

献血の呼びかけを裏面に
載せた紙専用のコピー機を
全国の大学生協に無料設置
したり、自動車教習所で広
報映像を流したりすること
も計画する。期待されるの
は若者自身による献血啓発
運動だ。各県で大学の有志
が学生献血連盟をつくり、
血液センターが支援する。

深刻なのは若い世代の減
少。輸血を受ける側は八割
以上が五十歳以上で若者に
は関心が低くなりがち。以
前盛んだった高校での集団
献血は、四百ミリℓ献血(十
八歳以上)需要が高まり、

〇〇年以降ほとんどなくな
った。「十代で献血経験が
ある人はその後も抵抗なく
協力してくれるのですが」
と大田さんは残念がる。

日本赤十字社は〇五年度
から五年計画で十、二十代

◆献血するには 各地の
献血センターや駅前などの
献血ルーム、献血バス(全
血)表参照のみ)を訪ね
る。まずは問診票を記入し
体調や注射、服薬歴、病
歴、海外渡航歴などの質問
に答える。医師の問診も受
ける。「安全性検査だけで
は検出できないウイルス混
入などを問診を使って防
ぐ」と大田さん。その後血
圧を測り、二ミリの血液を
採り、成分量などを調べ
る。

成分献血は、抜いた血液
から必要成分だけを抽出し
て、また残りを体内に戻す
ため、四十一~九十分の時間
が掛かる。全血より体への
負担は軽いといつ。献血後
はジュースやお菓子で水分
補給と休憩を取ってもらっ
て終了。

16歳の誕生日 献血デビュー

高校生 内藤 大喜

(奈良市 16)

僕はずっと、この日を待っていました。献血ができるようになる16歳の誕生日です。

小さい頃から、母や祖母の献血についていきました。当時は注射が大嫌いだったので、なぜ献血するのか不思議でした。しかし、つらいつらくなち、自然に思うようになりました。自分の血液で

誰かが助かる。助けてあげられたら、と。

初めての献血ルームはうれしい反面、少し緊張もありました。しかし、看護師さんが優しく声をかけてくれて、リラックスできました。

おととしまでは高校に献血センターの方が来られて献血できたそうです。移動献血車が学校や役所、スーパーなどに定期的に来てくれたら、献血する人はもっと増えるのではないのでしょうか。

健康な体に感謝しつつ、これからもずっと献血していきたいと思えます。献血デビューした16歳の誕生日。一生忘れられない大切な日になりました。